

患者支援センターだより



お知らせ

予約申込をお受けする専用FAX機を増設いたしました

平素より格別のご高配を賜り、深く感謝申し上げます。
日ごろ当院へ予約お申し込みをいただく際に、FAX回線が混んでなかなか繋がらないとお声を頂戴しておりました。
そこで、送信時の混雑緩和のため、FAX機を増設いたしました。
2回線でお受けできるようになりましたので、ご迷惑をお掛けすることが少なくなるかと存じます。増設したFAX番号は下記をご参照下さい。
お手数をおかけいたしますが、送信いただく書類の枚数に応じてFAX番号をご選択いただけますと幸いです。
今後も皆様のお声を真摯に受け止め改善に努めてまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

予約専用FAX番号1：**078-382-5265** (24時間受付) ※従来どおり

予約専用FAX番号2：**078-382-2650** (24時間受付) ※送信枚数7枚以上

本件問い合わせ先
患者支援センター地域連携部門 078-382-5264

Contents

・FAX機増設のお知らせ	1
患者支援センターからのご案内	
・地域連携セミナーのご案内	2
・総合相談窓口のご案内	3
・インターナショナルメディカルコミュニケーションセンター (IMCC) からのご案内	4
・がん相談室 (がん相談支援センター) からのご案内	6
診療科・部門からのご案内	
・糖尿病・内分泌内科	7
・精神科神経科	8
・食道胃腸外科	9
・リハビリテーション科	10
・眼科	11
国際がん医療・研究センターからのご案内	
・肝胆膵外科	12
・食道胃腸外科	13
患者支援センター問い合わせ一覧	14



地域連携セミナーのご案内



お申込はこちら

患者支援センター主催イベント

第8回地域連携セミナー（医療関係者対象）

日時 2024年11月7日（木） 18:00～20:30（情報交換会 19:30～）

場所 （第1部：講演会）神戸大学医学部 福利厚生施設4階 神緑会館記念ホール
（第2部：情報交換会） 3階 医学部食堂

概要 本院から「脳神経外科」「皮膚科」「産科婦人科」、ICCRCから「泌尿器科」の新たな診療の取り組み、患者支援センターから「看護の地域連携の取り組み」の講演を行います。

お問合せ先

患者支援センター事務室 TEL:078-382-5522 FAX:078-382-6710

詳細はホームページからご確認ください <https://www.hosp.kobe-u.ac.jp/jims/events/event000830.pdf>

■ 病院訪問のご案内

これまでご訪問いただきました医療関係者の皆様には改めてお礼申し上げます。当院へのご訪問は、下記要領にてお申し込みください。

お申込の方法

下記アドレスにメールにてお申込ください。

患者支援センター広報 sienkoho@med.kobe-u.ac.jp

メール記載事項

1. 貴施設名

2. 希望日時

◆希望日

※可能であれば希望日時は3つ程度ご提案ください。

◆希望時間帯を選び、ご記入ください。

① 11:00～11:30 ② 11:30～12:00

③ 15:00～15:30 ④ 15:30～16:00

⑤ その他（ご希望に添えない場合もございます）

3. ご訪問の内容

◆特にご希望の診療科や議題がある場合にはお書きください。

（例）希望内容 △△科の新任挨拶・セミナーのお知らせ



皆様のご来訪を心よりお待ちしております。

例 施設名 ○○医院
希望日時 第一希望 8月9日 ①②
第二希望 8月26日 ④



総合相談部門からのご案内



総合相談窓口では、**患者相談、がん相談室(がん相談支援センター)、神戸市難病相談支援センター、HIV相談**、それぞれ専門の相談員が相談をお受けしております。

また、**肝疾患相談センター、てんかんセンター相談窓口、脳卒中相談窓口、移行期医療支援センター相談窓口**の各種相談窓口も設置されており、相談予約の受付もおこなっています。

医療者の方からのご紹介も年々増えてきておりますが、相談窓口はまだまだ周知されていない現状があります。多くの方にご利用いただけるように、相談室では、多くの情報を整備し、治療や症状の相談、公的制度の相談、就労関連の相談など、様々な相談に対応しておりますので、医療者の方もご連絡ください。

相談室の利用方法

場 所：外来診療棟 1階 正面玄関入って左側
 相談方法：電話相談 (1回 20分程度)
 対面相談 (1回 30分程度)
 費 用：無料

患者相談

相談日時：8時30分～17時
 (土・日・祝祭日・年末年始除く)
 TEL：078-382-5111 (代表) (予約不要)

がん相談室 (がん相談支援センター)

相談日時：9時30分～12時13分～16時30分
 (土・日・祝祭日・年末年始除く)
 TEL：078-382-5830 (原則予約制)

神戸市難病相談支援センター

相談日時：9時～12時13分～16時30分
 (土・日・祝祭日・年末年始除く)
 TEL：078-382-6600 (予約優先)

各種専門 (肝炎／てんかん／脳卒中 ／移行期医療) 相談窓口

TEL：078-382-5111 (代表)
 ＊予約については各種専門相談にて異なります。
 ホームページにてご確認ください。

1階院内案内図



外来診療棟 1階 A11 総合相談窓口
 正面玄関入ってすぐの左手側です。



情報コーナー

各種各種パンフレットを取り揃えております。
 ご自由にお持ちください。

面談室

個室でゆっくりとお話
 できます。





国際医療コミュニケーションセンターからのご案内

日本の公的保険、日本の国籍及び有効な在留カードを 持たない患者さんへ

当病院では、2018年より国際的な医療ニーズに対応すべく、専門担当部署である国際医療・コミュニケーションセンター（IMCC）を窓口とし、海外からの患者さんをスムーズに受け入れるための対応を行っています。

以下に、受診の流れについてご案内いたします。

予約・受診について

受診の際には、医療コーディネイト会社（有料）を通しての予約が必要です。受診前には、患者さんが保有する診療情報を整理し、日本語または英語に翻訳して提供する必要があります。これにより、診療の円滑な進行が期待できます。診療情報の整理や翻訳及び受診時の医療通訳に関しても、医療コーディネイト会社がサポートすることになります。

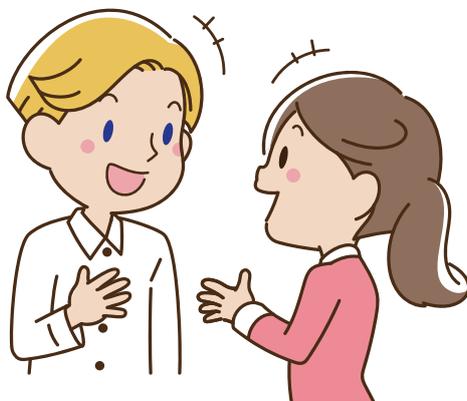
医療費について

診療報酬点数は1点30円です。具体的な医療費に関する詳細は、IMCCにお問い合わせいただくか、医療コーディネイト会社を通じてご確認ください。

当院と既に取り引のある医療コーディネイト会社のリストや、受診に関する詳細やアシスタンスにつきましては、IMCCのホームページ

<https://www.hosp.kobe-u.ac.jp/imcc/patient.html> をご参照ください。

その他、ご不明な点やご質問がありましたら、どうぞお気軽に神戸大学医学部附属病院 IMCC までご連絡ください。



連絡先

078-382-5111 神戸大学医学部附属病院代表（IMCC 内線 6855）
E-mail imcc@med.kobe-u.ac.jp

●●●●● 外国人患者さんの診察予約お申込みの方法 ●●●●●

※当院を自費にて受診される際、被用者保険未加入の外国籍の方は、**診療報酬1点30円**で計算されます。

紹介元医療機関

1 FAXにて申込（電話での予約は承っておりません）

※医療通訳をご希望の場合は「医療通訳申込書」もFAXお願いいたします

神戸大学病院 患者支援センター

◆通常予約が可能な方◆

- ・日本国籍
- ・日本の公的医療保険お持ちの外国籍の方
- ・在留カードをお持ちの方

2 予約票を返信します

紹介元医療機関

「予約票」・「医療通訳手配完了のご案内」（お申込みの方）・「診療情報提供書」・「持参資料」

3 患者さんへお渡しください

患者さん

「予約票」と「診療情報提供書」、保険証 **お薬手帳**、診察券（お持ちの方）を**3番窓口**にご提出ください。

※在留カードを提出いただく場合がございます

4 受診

◆医療コーディネーター業者と契約が必要な方◆

- ・短期滞在の外国籍の方（旅行・ビジネス・短期留学等）
- ・在留カードをお持ちではない方

2 別紙案内用紙を返信します

「日本の公的保険、日本の国籍及び有効な在留カードを持たない患者さんへ」

3 患者さんへお渡しください

ご自身契約中の医療コーディネーター会社より、当院国際医療コミュニケーションセンター（IMCC）に申し込みます。未契約の方は、IMCCのホームページ <https://www.hosp.kobe-u.ac.jp/imcc/patient.html> をご参照ください。

（当院と既に取り引のある医療コーディネーター会社のリストや、受診に関する詳細等が記載ございます）

以降は、コーディネーター会社とIMCCとで直接のやり取りとなります。

4 受診

神戸大学病院 診療科より

5 結果報告

紹介元医療機関に受診報告（返書）を郵送します ※検査結果など詳細は後日の場合があります

- ◆医療通訳申込中の受診キャンセル・変更：医療通訳利用日の2営業日前 午後5時以降から全額
- ◆予約診察日は、申込日（FAX送信日）の翌診察日以降となります。当日の予約はお受けしておりません
- ◆緊急時・即日入院が必要などのご判断の場合は救急外来へご連絡ください。



がん相談室（がん相談支援センター）からのご案内

■ がん相談室（がん相談支援センター）について

がん専門相談員による、がん、またはがんに関連した不安、悩みなどのご相談・資料提供などを行っております。

がん患者さんやご家族のほか、地域の方々など、どなたでも「無料」でご利用いただけます。相談で知り得た情報を、相談者の同意なく第三者（主治医等を含む）に伝えることはありません。また、匿名でのご相談も可能です。

がんに関することについてどんなこともお気軽にご相談ください。ただし、主治医に代わって治療について判断するところではありませんので、ご相談内容によっては医師の受診やセカンドオピニオン外来の受診をご案内する場合がございます。

■ がん相談室（がん相談支援センター）の利用方法

「原則予約制」となっております。まずは事務員が予約受付をいたします。

○ 予約方法：

お電話でご予約の場合、下記にご連絡ください。

☎：078-382-5830

対面でご予約の場合、直接、がん相談室にお越しください。

場所：外来診療棟1階 総合相談窓口（A11）内

○ 相談方法：電話相談（1回20分程度）、対面相談（1回30分程度）

○ 相談日時：9時30分～12時、13時～16時30分（土・日・祝日・年末年始除く）

○ 費用：無料

■ がん患者さん・ご家族向け勉強会の開催のご案内

＼2024年度／ がん相談室主催勉強会 ふれあい市民講座×10周年がん患者サロン



がん患者さんやご家族が、治療や療養生活に関する正しい知識や情報を得られる場として、勉強会を開催しております。

12月1日(日)開催予定

12:30～16:30（開場 12:00）

対象 がん患者さん、ご家族、医療従事者など、どなたでもご参加いただけます

場所 神戸大学 医学部福利厚生施設 4階 神緑会館記念ホール

内容 参加・体験型イベント
ふれあい市民講座×10周年がん患者サロン

過去の勉強会を収録したDVDの貸出も行っております。
がん相談員にお声がけください。



○過去のテーマ

- ・正しい情報の取り方
- ・臨床試験について
- ・抗がん剤治療について
- ・がんゲノム医療について
- ・がん治療と外見ケア
- ・リハビリテーション
- ・公的制度、仕事のことについて
- ・ハローワークにおける就職支援 など
- ・標準治療
- ・食事と栄養
- ・がんところ

参加無料 対面開催

詳細は、腫瘍センタートップページの「患者さん向けイベント」に掲載のご案内をご覧ください。



お問い合わせ先：

神戸大学医学部附属病院 がん相談室
電話番号 078-382-5830

連絡先

がん相談室（がん相談支援センター）（直通）078-382-5830



糖尿病・内分泌内科からのご案内

減量外来のご案内

— 新たな肥満症治療薬（ウゴービ®）による薬物療法を開始 —

神戸大学医学部附属病院 糖尿病・内分泌内科では、「肥満症」に対する取り組みとして、「減量外来」を開設しております。「肥満に起因ないし関連する健康障害を合併するか、その合併が予測される状態」と定義される「肥満症」は、減量を必要とする疾患であり、当院の減量外来では、「食事療法」、「運動療法」、「行動療法」といった標準的な治療に加え、肥満症治療薬による「薬物療法」、当院食道胃腸外科と連携した「減量・代謝改善手術」まで、肥満症治療をシームレスに提供しています。

本年2月に発売された新規肥満症治療薬（ウゴービ®）について、肥満症治療が可能となりましたが、厚労省の設定する最適使用推進ガイドラインの対象品目であるため、最適使用推進ガイドラインに記載されている（1）施設・医師要件、（2）患者要件、（3）投与の継続・中止の判断基準を遵守して使用されるべき薬剤となっています。患者要件として、薬剤を投与する施設において食事療法や運動療法などの治療を6ヵ月以上実施し、この間に2ヵ月に1回以上の頻度で管理栄養士による栄養指導を受けておく必要があるため、ご紹介いただいても6ヵ月間は薬剤を開始できないことには、ご注意ください。なお、本薬剤の適応については表1をご参照ください。

「減量外来」では、肥満を合併し糖尿病をおもちの方々はもちろんのこと、BMIが30以上ある方々は他の合併疾患がなくても、保険診療の中で栄養指導を含めた減量治療が受けられます。また、入院による減量治療も行っており、健康障害の合併状態の詳細な評価も可能です。肥満症の精査・治療が必要な方がおられましたら、気軽に減量外来へご紹介ください。

表1:ウゴービ®の適応

肥満症と診断され、かつ、高血圧、脂質異常症、2型糖尿病のいずれかを有し、以下のいずれかに該当する場合に限り適応

- ・BMIが27kg/m²以上であり、2つ以上の肥満に関連する健康障害(以下1～11)を有する
- ・BMIが35kg/m²以上
 - (1)耐糖能障害(2型糖尿病・耐糖能異常など)
 - (2)脂質異常症
 - (3)高血圧
 - (4)高尿酸血症・痛風
 - (5)冠動脈疾患
 - (6)脳梗塞
 - (7)非アルコール性脂肪性肝疾患
 - (8)月経異常・不妊
 - (9)閉塞性睡眠時無呼吸症候群・肥満低換気症候群
 - (10)運動器疾患
 - (11)肥満関連腎臓病

最適使用推進ガイドラインの対象品目であるため、最適使用推進ガイドラインに記載されている
 (1)施設・医師要件、(2)患者要件、(3)投与の継続・中止の判断基準を遵守して使用する必要がある。

患者要件:

高血圧、脂質異常症又は2型糖尿病のいずれかの薬物療法がなされている患者であること。
 適切な食事療法・運動療法に係る治療計画を作成し、本剤を投与する施設において当該計画に基づく治療を6ヵ月以上実施しても十分な効果が得られない患者であること。
 また、食事療法について、この間に2ヵ月に1回以上の頻度で管理栄養士による栄養指導を受けた患者であること。

投与開始後は、2か月に1回以上の栄養指導を含めた適切な食事療法・運動療法を継続し、投与開始3～4か月間は毎月、それ以降は2～3か月に1回、体重、血糖、血圧、脂質の確認を行いながら、最大68週間投与することが可能である。

参考資料:日本肥満学会「肥満症治療薬の安全・適正使用に関するステートメント」
http://www.jasso.or.jp/data/Introduction/pdf/academic-information_statement_20231127.pdf

連絡先

糖尿病・内分泌内科医局 078-382-5861



精神科神経科からのご案内

児童思春期・AYA 世代こころの総合診療センター

児童思春期・AYA 世代こころの総合診療センターが 2023 年 4 月に開設し、1 年以上が経過いたしました。昨年度は 100 名近くの児童思春期・AYA 世代の患者さんに、初診外来を受診していただきました。近年、こころの健康に何らかの不調を抱えるこどもや若者が増え、サポートの必要性が高まっています。当センターでは、みなさまの「困った」「しんどい」から、診察までの時間を短くし、早くから必要なサポートができるように努めます。

当センターは大学病院として、摂食症の入院加療も積極的に行なっております。近年、摂食症はインターネットの普及、またコロナ禍を契機に低年齢化していると言われております。摂食症の治療においては、発症の初期に適切な治療を行い、できるだけ長期化しないような治療の枠組みが必要であると考えます。低体重により身体的な問題が出てきた際には、当院小児科との連携も行いながら治療にあたっていきます。

そして、インターネット・ゲームにおける様々な問題に対しても、当センターでは介入を行なっています。インターネットは現代社会において、必要不可欠なものであり、避けて通ることはできません。その中でどのようにルール・枠組みを設定し、安全で有用なツールとして利用していけるかを患者さん・ご家族の方々と一緒に考えさせていただきます。

また、インターネットの普及により価値観の基準が子どもたちの中でも多様化していることを感じています。その中で思春期の発達課題である「アイデンティティの確立」に難しさを感じている子どもたちも少なくありません。特に自閉スペクトラム症や注意欠如多動症などの発達特性を持った子どもたちは、環境への適応の困難さにつまずきを感じている方も多く見受けられます。私たちは、発達特性には早期から適切なサポートを行い、ひとりひとりの得意なことやつまずきに寄り添いながら成長を共にみることが大切だと考えています。

高校生以上あるいは 18 歳以上の方に関しては、小児あるいは児童思春期としての必要な支援が途切れてしまうことも多いと思います。当センターは年齢で区切らず、成長とともに、困りごとや悩みの変化にも対応してサポートしていく体制をとっておりますので安心してご相談いただければと思います。

学校や地域の医療機関、行政機関などと連携しながら、おひとりおひとりが地域で安心して暮らせるような環境づくりを一緒に考えていきたいと考えています。

対象年齢は小学校 1 年生以上になります。初診までの流れは精神科のホームページをご覧ください。

ホームページ

精神科神経科：<https://www.hosp.kobe-u.ac.jp/department/department/seishin.html>
児童思春期・AYA 世代こころの総合診療センター：
<https://www.hosp.kobe-u.ac.jp/department/bumon/jidou.html>



食道胃腸外科からのご案内

直腸癌の最新治療

いつも地域医療機関の皆様には大変お世話になっております。先生方のご支援・ご指導により、当科の大腸癌手術件数も年々増加傾向にあり、この場を借りまして厚く御礼申し上げます。

今回は当科で行っております**直腸癌の最新治療**について、ご紹介させていただきます。

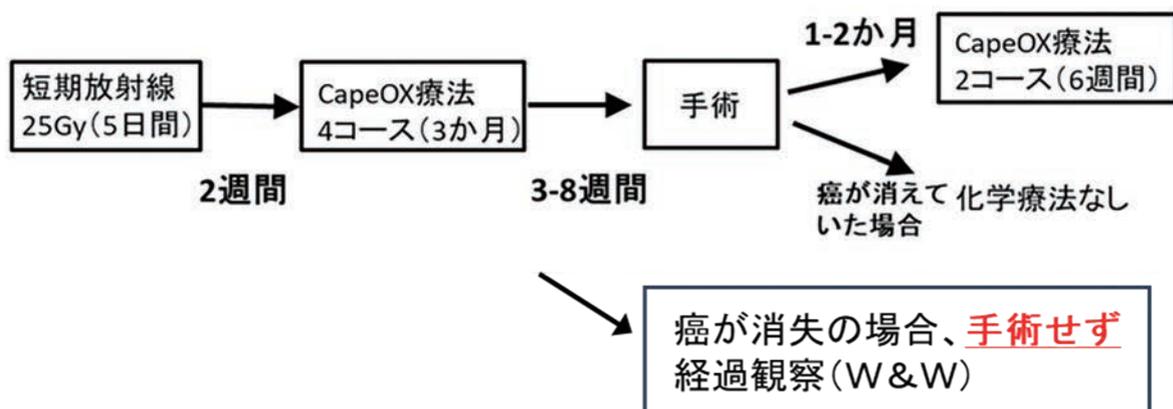
大腸癌は日本において罹患数で第1位、死亡数は肺がんに次いで第2位の癌であり、年々増加傾向にあります。中でも直腸癌が増加傾向にあり、直腸癌は結腸癌と比較して、予後不良だけでなく、肛門機能悪化、人工肛門、局所再発など多くの課題があります。一方で、術前放射線、術前化学療法などの術前治療や、ロボット手術、TaTME（経肛門アプローチ手術）などの手術療法が非常に進歩しており、治療方法がどんどん進化している領域でもあります。

最も進歩が著しい術前治療の領域では、近年**Total Neoadjuvant Therapy(TNT)**と呼ばれる術前療法が注目を集めています。これは、従来術後に行っていた化学療法を術前に移動させ、**「術前放射線療法→術前化学療法→手術」**という治療です。これによって、局所再発だけでなく遠隔転移も低下させることが海外の臨床試験で報告されています。また、これらの術前治療によって腫瘍が消失するケースが約3割に認められ、その場合は手術をせずに積極的に経過観察する**「Watch and Wait」**と呼ばれる治療オプションも有用であることが報告されています。患者さんにとって手術をせずに済むのであれば、そんな幸せなことはありません。しかし残念ながら今の日本では、本治療法は臨床試験としてしか施行できません。

そこで当科では、「局所進行直腸癌に対するTNTの有効性」の臨床試験を行っております。本臨床試験によって、患者さんは従来よりも有効な術前治療を受けていただくことができ、場合によっては**手術を回避できる可能性**があります。

どのような治療を選択できるかによって、患者さんの運命は大きく変わります。また一旦他の病院で手術などの治療を受け、うまくいかなかった場合は、治療がさらに困難となります。大腸癌、直腸癌の患者さんがおられましたら、是非とも神戸大学食道胃腸外科にご紹介下さいますよう、よろしくお願い申し上げます。

・TNTによる直腸癌治療



連絡先

TEL : 078-382-5925 (当科医局)

Email : tmatsuda@med.kobe-u.ac.jp (大腸グループチーフ 松田武)



リハビリテーション科からのご案内

痙縮外来・装具外来のご案内について

痙縮（ボツリヌス療法）外来について

金曜午前に痙縮外来を行っております。脳卒中後遺症や脳性麻痺、脊髄損傷、神経筋疾患などが原因でおこる運動障害のひとつに痙縮があります。痙縮により、リハビリテーション治療が妨げられたり、更衣などの日常生活に支障がでます。当科では痙縮外来にて、患者さんの痙縮を診察し、現在の状況や希望をお伺いした上で、患者さんにあった治療法を提案しております。痙縮外来は、毎週金曜日午前10時から11時半に行っております。神経筋疾患や脳性麻痺など、脳卒中後遺症以外の痙縮に対するボツリヌス療法についても多くの経験があります。

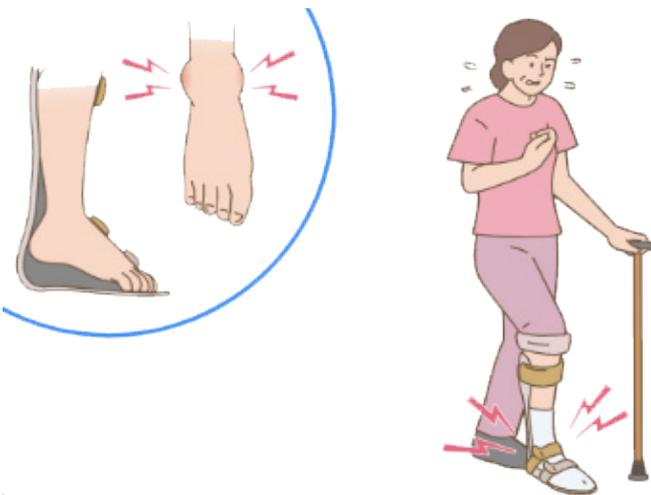


装具外来について

月曜午前・金曜午後に装具外来を行っております。

装具とは、身体の一部を外部から支えて関節の動きを制限したり、保護したりすることで、変形の矯正、関節運動の補助、疼痛の軽減などを図るものです。装具は生活の中で長く使用するために作られるので、重量や耐久性に関わる素材や外観、そして価格に配慮して作製されます。当科ではリハビリテーション科専門医、義肢装具専門医が患者さんの症状に応じて、適切な装具を処方、作成しております。

小児・関節リウマチ・希少疾患についても対応可能です。痙縮でお困りの患者さん、装具でお困りの患者さんがおられましたら是非ご紹介ください。



	装具外来	痙縮外来
月（13時から15時）	○	
金（10時から11時半）	○	○



眼科からのご案内

臨床研究・治験をおこなっております

現在、多くの臨床研究、治験を行っております。目標の症例数にはまだ至っていない状況でもございますので、対象となる患者さんがおられましたら、是非ともご紹介をお願い致します。

- * 眼圧 15mmHg 以下でも進行する初期・中期の POAG（メトホルミン神経保護効果を検討する特定臨床研究）：中村までご紹介ください。
- * 黄斑浮腫を伴うぶどう膜炎：楠原までご紹介ください
- * 糖尿病黄斑浮腫：楠原までご紹介ください
- * 未治療の滲出型加齢黄斑変性：三木までご紹介ください
- * 軽症から中等症の強膜炎（MTX 内服治療の特定臨床研究）：松宮までご紹介ください
- * 活動性のある甲状腺眼症：長井までご紹介ください

外来担当表（2024年9月1日現在）

初診	月	火	水	木	金
教授診	中村（初診）				中村（再診）
初診担当 [専門分野]	楠原 [ぶどう膜炎] [網膜硝子体]	三木 [網膜硝子体] [黄斑] 坂本 [緑内障] [眼窩]	中西 [緑内障] [斜視弱視] 松宮 [ぶどう膜炎] [網膜硝子体]	長井 [角膜] [眼窩] 高野 [緑内障] [神経] [眼窩]	盛 [緑内障] [神経] [角膜] 山田 [網膜硝子体]
専門外来	月	火	水	木	金
午前	緑内障	緑内障	網膜硝子体	網膜硝子体	角膜
午後	神経	斜視弱視	網膜硝子体	ぶどう膜炎	眼窩

地域医療機関の先生方へ

紹介患者さんの受診につきましては、当院患者支援センター地域連携部門 予約担当まで診察予約をお申し込み頂きますようお願い申し上げます。お手数ですが紹介予約申込書に希望医師をご記入または指定のコード表の希望分野にチェックして頂きますと幸いです。手術の待機期間も数週間以内となっておりますので、お悩みの症例などございましたらご紹介くださいますようお願い申し上げます。

緊急性のある疾患につきましては予約なしでも対応致しますが、それ以外の疾患につきましては予約が無い場合、長時間の待ち時間が発生いたしますので患者さんにその旨必ずご説明頂くとともに、原則、上記のように予約をお取りいただきますようお願い申し上げます。

なお、網膜剥離など手術を要する緊急疾患につきましては、病床準備の都合等ございますので、眼科病棟医長（松宮）または副医長（盛）まで必ずご一報下さい。ご一報いただけない場合、対応が遅れ、ご迷惑をおかけする可能性もございます。また、緊急疾患の紹介に関する患者情報のやり取りは先生方と当院対応医師とで行っていただきますようお願いいたします。診療中ご多忙とは存じますが、ご理解ご協力のほど何卒よろしくお願い致します。

また、病態が落ち着かれました方に関しましては、先生方との併診や逆紹介を勧めさせて頂きますので、その節には何卒ご協力ご高診を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

連絡先

平日 9:00 ~ 17:00 TEL : 078-382-6931 (眼科外来)
 平日 9:00 ~ 17:15 TEL : 078-382-5111 (代表)
 平日 17:00 以降・休日 TEL : 078-382-6510 (救急外来)



ICCRC

肝胆膵外科からのご案内

ICCRCの**肝胆膵外科**（診療責任医師：津川大介）では、本院（福本巧教授）と連携をしながら、クオリティの高い手術を行うことを心掛けています。ICCRCでは低侵襲手術が中心であり、**腹腔鏡下手術の症例が大半**を占めています。

肝臓に対する腹腔鏡下肝切除や胆道疾患（胆嚢癌、胆石症、胆嚢炎、胆嚢ポリープ）に対する腹腔鏡下胆嚢床切除術・胆嚢摘出術を多く行っており、腹壁癒痕ヘルニア、鼠径ヘルニアなどの腹腔鏡下手術も行っています。**単孔式腹腔鏡下手術**も患者さんの希望に応じて実施しています。

また、画像では発見できない播種・転移リスクの高い**膵癌・胆道癌の患者さんに対して審査腹腔鏡**を積極的に行っています。審査腹腔鏡では細胞診検査を行います。シスメックス社と共同で、腹水細胞診の精度をあげる研究（膵・胆道癌における剥離細胞分析装置 LC-1000 の腹水細胞診支援システムとしての応用可能性に関する探索的研究）を行い、細胞診に代わるデジタルな診断法が有用であるデータを得、発表も行いました。

先進的な取組みとして、兵庫県立粒子線医療センター・神戸陽子線センターと連携し、膵癌や胆管癌に対する**粒子線治療を行う目的でのスペーサー留置術**も多く行っています。肝胆膵癌に対する粒子線治療の保険適用が令和4年度から拡大されましたので、是非症例をご紹介します。

肝胆膵癌は拡大手術が多く、術前管理が手術成績を大きく左右します。ICCRCでは**がんの術前リハビリテーション（プレリハ）**や胆汁返還などを行い、患者さんの状態を少しでも良くする入院を施行し、本院で施行する癌の拡大手術につなげる取組みも行っています。

以上のように、ICCRC肝胆膵外科は術前術中術後を通して先進的な取組みを行いながら、治療成績の向上を日々目指しています。なお、**初診外来診療は原則 神戸大学医学部附属病院（本院）**で行っていますので、是非患者さんをご紹介しますいただければ幸いです。

ホームページ

国際がん医療・研究センター：<https://www.hosp.kobe-u.ac.jp/iccrc/>
(ICCRC) 肝胆膵外科：<https://www.hosp.kobe-u.ac.jp/iccrc/dep/kantansui/>



ICCRC

食道胃腸外科からのご案内

食道胃腸外科ではおもに鼠径ヘルニア・腹壁ヘルニア等の良性疾患、大腸癌などの悪性疾患に対して、腹腔鏡下手術を中心とした手術を神戸大学医学部附属病院と連携しながら行っています。

大腸癌に対しては、内視鏡外科学会技術認定医指導の基、3D内視鏡システムを用いて、より精度が高く安全な手術を行っております。

鼠径ヘルニアに対しては、原因・程度・患者希望・全身状態に応じて、腹腔鏡下鼠径ヘルニア修復術(TAPP法)と前方アプローチによる鼠径ヘルニア根治術を使い分けております。今後ロボット手術の導入など、最先端治療も検討しております。腹壁ヘルニアに対しては低侵襲な腹腔鏡下手術のみならず、より複雑な病態に対応する為に、形成外科と協力し大体筋膜弁等を用いた修復術も行っております。

当科かかりつけの患者さんに関しては、神戸大学医学部附属病院と連携をとり、責任を持って対応するようにしております。また消化器内科および他科とも連携し、様々な疾患に対応できるようにしております。お一人お一人とゆっくり向き合って安心して治療していただくよう努めています。

受診については、神戸大学医学部附属病院の食道胃腸外科にご相談下さい。

アクセスマップ

Access Map



外来診療日・診療時間

General outpatient care

外来診療日・診療時間	月	火	水	木	金
9:00~11:00	○	○	○	—	○
13:00~16:00	○	○	○	○	○

※土・日・祝日は休診日となります。 ※予約のない初診は受け付けておりません。

神戸大学医学部附属病院 International Clinical Cancer Research Center
国際がん医療・研究センター

〒650-0047 神戸市中央区港島南町一丁目5番地1号
 TEL.078-302-7111 (代表) FAX.078-302-7147
<http://www.hosp.kobe-u.ac.jp/icrc/>

【医療機関専用】患者支援センター問い合わせ先一覧

神戸大学医学部附属病院 代表番号 078-382-5111

✳ 業務時間／平日 午前8時30分～午後5時00分



主な業務	対応職種	連絡先
<ul style="list-style-type: none"> 退院支援（在宅支援・転院・施設支援） 各種制度に関する問い合わせ 	看護師 ソーシャル ワーカー	TEL：078-382-6623 FAX：078-382-5267
<ul style="list-style-type: none"> 診療情報提供書の仲介 訪問看護指示書発行手続き 入院相談（緊急の場合は各診療科へお願いします） 	事務員	TEL：078-382-6627 FAX：078-382-5267
<ul style="list-style-type: none"> 広報 	事務員	TEL：078-382-5522 MAIL：sienkoho@med.kobe-u.ac.jp
<ul style="list-style-type: none"> 外来紹介予約 FAX 受付【地域連携部門 予約担当】 FAX 受付時間：平日 午前8：30～午後7：00 土曜 午前9：00～午後0：00 ※日・祝日、年末年始及び、GW、お盆期間の土曜日を除く。 電話受付時間：平日 午前8：30～午後5：00 ※土日・祝日、年末年始を除く。	事務員	TEL：078-382-5264 （予約専用） FAX：078-382-5265 （予約専用1） : 078-382-2650 （予約専用2） ※7枚以上の送信は予約専用2にお願いします

※患者さんからの直接のお問い合わせは受け付けておりません。必ず紹介元医療機関を通じて、ご連絡ください。
 ※入院日日程に関しては、各診療科にお問い合わせ下さい。

アクセスマップ

